

項目番号	項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目		
理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとし ての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている	理念を職員で常に共有し、実現に向け取り組んでいます。	今後も常に理念実現に向け取り組んでいきたいと思います。
2	2	理念の共有と日々の取り 組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人理念に基づき日々取り組んでいます。	今後も常に理念実現に向け取り組んでいきたいと思います。
3	3	家族や地域への理念の浸 透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家 族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居時に法人理念の説明をし、玄関にも掲示しています。また地域密着の必要性を口頭にて説明 しています。	地域の人にももっと浸透できるよう工夫していきたいと思います。
2. 地域との支えあい					
4	4	隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄っ てもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外に出かけた時の挨拶等は必ず行い、気軽に話しかけてもらえるような環境作りをしています。	今後も継続して行いたいと思います。
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事参加(見学)等を予定しています。	地域柄、行事・地域活動が多いので、積極的に参加していきたいと思います。
6	6	事業所の力を活かした地 域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高 齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	他施設との交流やボランティアの受け入れ等を模索しています。	今後も課題として検討していきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解 し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回が初めてですが自己評価及び外部評価の実施について意義を理解しています。	今回の評価で改善点があった場合、真摯に受けとけ改善していきたいと思います。
8	5	運営推進会議を活かした 取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等 について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かして	7月に市・介護保険課の協力で運営推進会議の開催に向け取り組んでいます。	定期的に開催していきたいと思います。
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり 、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催のグループホーム会議等に出席し、意見交換をしています。	今後も会議には出席していきたいと思います。
10	10	権利擁護に関する制度の 理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用でき よう支援している	現時点では対応していませんが、今後に向けて、取り組んでいきます。	今後に向けて、対応していきます。
11	11	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利 用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防 止に努めている	管理者が中心となり、防止に努め現在も虐待はありません。また、講習も受けています。	今後も虐待防止に努めていきます。
4. 理念を実践するための体制					
12	12	契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書の内容を全て読み上げ、納得していただいたから契約をしています。	継続し、納得していただいたら契約をしています。
13	13	運営に関する利用者意見 の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会 を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員の受け入れと、苦情相談窓口を設けています。	今後、苦情、不満、意見がた際には真摯に受け止め改善・検討していきます。
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等につ いて、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	サクラピア通信とおこづかい帳を月1回発行し、利用者個々の近況をご家族に報告しています。	今後も実施していきたいと思います。
15	8	運営に関する家族等意見 の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会 を設け、それらを運営に反映させている	普段よりご家族の来所が多いためその都度管理者・ホーム長と意見交換等を行っています。また 苦情窓口を設置しています。	今後も実施していきたいと思います。
16	16	運営に関する職員意見の 反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反 映させている	月1回のカンファレンスを行い、利用者様・施設に対する意見を職員と話し合い、即実行していま す。	今後も実施していきたいと思います。
17	17	柔軟な対応に向けた勤務 調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間 帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要な人員を確保しています。	今後も実施していきたいと思います。
18	9	職員の異動等による影響 への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよう に、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へ のダメージを防ぐ配慮をしている	基本的に職員の異動は現地採用の為ありません。	今後も同様、配慮をしています。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人 内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	必要に応じ外部研修を受ける機会を設けています。	法人内研修等を今後充実させていきたいと思います。
20	11	同業者との交流を通じた 向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネット ワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取り組みをしている	同業者との相互訪問実現に向け、話し合いをしています。また定期的に同業種の施設へ訪問し情 報交換をしています。	引き続き行っていきます。
21	21	職員のストレス軽減に向け た取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに 取り組んでいる	随時話を聞く機会を設け、ストレスのたまるない様気をつけています。	今後も実施していきたいと思います。
22	22	向上心を持って働き続ける ための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が 向上心を持って働けるように努めている	職員に責任を与え、通常より指導しています。資格取得を目指す職員にもサポートしています。	今後も実施していきたいと思います。

項目番号	項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	必要な限り話し合いをし、納得していただいてから入居していただいています。	今後も実施していきたいと思います。
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	必要な限り話し合いをし、納得していただいてから入居していただいています。	今後も実施していきたいと思います。
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様・ご家族の意向に沿えるようできる限りの要望は受けています。	今後も実施していきたいと思います。
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族の意向のもと最善の方法を選択し、サービス利用していただきます。	今後も実施していきたいと思います。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	まず職員との信頼関係を築きその中で、支えあう家族のような関係を築いています。	今後も実施していきたいと思います。
28		本人を共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の立場になって、話を聞き、また意見交換をし共に利用者様を支えられる関係を築くようにしています。	今後も実施していきたいと思います。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	話し合う機会を多くもつことにより関係の理解に努め、支援しています。	今後も実施していきたいと思います。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	全て、利用者様の意向に添い支援しています。	今後も実施していきたいと思います。
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共有スペースでのレク・食事等の中で、利用者様同士の良い関係を築けるよう支援しています。	今後も実施していきたいと思います。
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりが必要な場合、関係を続けられるよう努力します。	今後も実施していきたいと思います。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	話し合いの中で把握に努め、本人本位に検討しています。	今後も実施していきたいと思います。
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントをしっかりと取り、それを日常の中で活かせる努力をしています。	今後も実施していきたいと思います。
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の引継・業務連絡、会議等で現状の把握、情報の共有に努めています。	今後も実施していきたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は必要に応じ随時変更します。(最低でも月1度は見直しを行います)	今後も実施していきたいと思います。
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は必要に応じ随時変更します。(最低でも月1度は見直しを行います)	今後も実施していきたいと思います。
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別介護日誌を参考に介護計画を作成しています。	今後も実施していきたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様や家族の意向に柔軟に対応できるよう職員間で話し合いを持ち、できる限り応えています。	今後も実施していきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	現時点で、利用者様・ご家族の要望・必要性がないため実施していませんが、要望があり次第支援します。	随時必要性に応じ、協力・支援をお願いしていきます。
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現時点で、利用者様・ご家族の要望・必要性がないため実施していませんが、要望があり次第支援します。	随時必要性に応じ、協力・支援をお願いしていきます。
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現時点で、利用者様・ご家族の要望・必要性がないため実施していませんが、要望があり次第支援します。	随時必要性に応じ、協力・支援をお願いしていきます。

項目番号	項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目		
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医には普段の状況を適切に医師に伝えるため、できる限り職員が同伴しています。	今後も実施していきたいと思います。
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	母体の医療機関に相談等を行っています。	今後も実施していきたいと思います。
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師資格を有するものが職員にいますので、相談等を行っています。	今後も実施していきたいと思います。
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院の際も職員が医師と相談の上、退院へ向けた計画を相談しています。	今後も実施していきたいと思います。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族の意向を尊重し、普段から話し合いを行っています。	今後も実施していきたいと思います。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度化や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること、できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医・ご家族・職員(看護師含む)で意見を共有するよう努め、検討・準備していきます。	今後も実施していきたいと思います。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	日常生活用品を使う等の工夫や、情報交換することにより軽減させる努力をしています。	今後も実施していきたいと思います。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	プライバシー・プライドの確保・尊重できるよう取扱いには注意しています。	今後も実施していきたいと思います。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表現できるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	話し合いの上、希望等には柔軟に対応しています。	今後も実施していきたいと思います。
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の意向に添い、日々の日常生活の支援をしています。	今後も対応していきたいと思います。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	基本的には、訪問美容を1ヶ月置きに利用しています。	今後も対応していきたいと思います。
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	残存能力を生かし、準備・調理・後片付けを一緒にしています。また、メニューを決めていただくときもあります。	今後も対応していきたいと思います。
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	施設内は禁酒・禁煙にしていますが、それ以外は利用者様の意向に沿えるよう努力しています。	今後も支援していきたいと思います。
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	失禁等が多い場合は定期的に誘導し、利用者様の周期を見極め、できるだけトイレで排泄できるように心掛けています。	今後も支援していきたいと思います。
57	23	入浴を楽しむことのできる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日は設けていますが、利用者様の要望に応える対応をしています。	今後も対応していきたいと思います。
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様の意向に沿えるよう支援しています。	今後も支援していきたいと思います。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理・レク等に積極的に声掛けし、日常と反日常の生活を繰り返すことにより、気晴らしを促しています。	今後も支援していきたいと思います。
60		お金の所持や使うことのできる支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	特に規制せずお金を所持してもらっています。	今後も支援していきたいと思います。
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員付き添いのもと、戸外に出かけられるようにしています。	今後も支援していきたいと思います。
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	規制をとくに設けず、支援しています。	今後も支援していきたいと思います。
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	規制はせず、自由にしてもらっています。	今後も支援していきたいと思います。
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に規制は設けず、気軽に訪問してもらええる環境を作っています。	今後も対応していきたいと思います。

項目番号	項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目		
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる		今後も対応していきたいと思います。
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		今後も対応していきたいと思います。
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している		今後も実施していきたいと思います。
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている		今後も対応していきたいと思います。
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる		今後も対応していきたいと思います。
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている		今後も実施していきたいと思います。
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		今後も対応し、訓練を生かしていきたいと思います。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている		今後も対応していきたいと思います。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている		今後も実施していきたいと思います。
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている		今後も実施していきたいと思います。
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる		今後も実施していきたいと思います。
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている		今後も実施していきたいと思います。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習性に応じた支援をしている		今後も実施していきたいと思います。
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)		今後も実施していきたいと思います。
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		今後も実施していきたいと思います。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている		今後も実施していきたいと思います。
81	29	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		今後も対応していきたいと思います。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている		今後も対応していきたいと思います。
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		今後も実施していきたいと思います。
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている		今後も実施していきたいと思います。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつ自立できる環境を整えています		今後も実施していきたいと思います。
86		わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している		今後も実施していきたいと思います。
87		建物の外周や空間の活用	建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている		今後も実施していきたいと思います。

(様式1)

自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="checkbox"/> 毎日ある <input type="checkbox"/> 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> たまにある <input type="checkbox"/> ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者がこころへ出かけている <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての家族 <input type="checkbox"/> 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 数日に1回程度 <input checked="" type="checkbox"/> たまに <input type="checkbox"/> ほとんどない

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない <u>全くない</u>
98		職員は、生き活きと働けている	<u>ほぼ全ての職員が</u> 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<u>ほぼ全ての利用者が</u> 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<u>ほぼ全ての家族等が</u> 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない